



対談 大網病院新院長に聞く

「地域医療の要」として、新たなスタートを



大網白里市長
金坂 昌典



市立大網病院 新院長
幸田 圭史

本年6月、大網病院の新しい院長に幸田氏が就任されました。就任から約1か月、新院長が描く病院のビジョンや、地域医療に対する熱い想いについて、金坂市長が伺いました。

■ 地域と共に歩む「包括的な医療」を目指して

市長 新院長としての率直なお気持ちと、当市で目指す「医療のビジョン」をお聞かせください。

院長 これまで約20年間、大学病院で外科の教授として臨床や研究、若手の指導に携わってきました。当院に着任して痛感したのは、高齢の患者様が多く多様な疾患を抱える一方で、医師が不足している現状です。今後はさまざまな分野の専門医を非常勤として招聘し、地域の「包括ケア」に広く対応できる病院を目指します。また、病気が重症化する前の早期発見・治療につなげる「予防医療」にも力を入れ、当院の大きな特徴にしていきたいと考えています。

■ 医師の負担を軽減し、診療の質を高める

市長 医療人材の不足や経営の健全化などに対し、どのような「病院改革」を進めていけますか。

院長 少ない医師数で過不足なく診療を行うため、医師以外のスタッフでも可能な業務（検査の予約調整や証明書作成など）を分担する「タスクシフト」を進め、医師の負担を軽減します。また、予防医療（健康診断や内視鏡検査）をはじめ、がんの外科治療や化学療法、リハビリテーションなどを積極的に行い、経営の健全化にも取り組んでまいります。

■ ガイドライン作成の知見を活かし、専門医療を地域へ還元

市長 先生は大腸肛門疾患や排便障害治療の第一人者ですが、その専門医療をどのように地域へ還元していくお考えでしょうか。

院長 高齢化が進む当地域には、排便障害でお悩みの方が非常に多くいらっしゃいますが、専門的に診察できる病院は都内を含めてもごくわずかです。私は「便失禁診療ガイドライン」の作成委員長を務めた経験もあり、この分野の知識と技術を地域社会へ還元していくことが私の義務だと感じています。

■ 患者様一人ひとりの生活に寄り添った治療選択

市長 排便の悩みは一人で抱え込んでしまう方が多い分野ですが、患者さんにはどのように寄り添い、対応されますか。

院長 排便障害は症状の程度や生活様式によって、何が一番の問題となるかが大きく異なります。そのため、まずは患者様のお話をしっかりと伺い、お一人おひとりの条件を考慮しながら、生活の質（QOL）を最も向上させる治療法と一緒に相談して選んでいくことを大切にしています。

■ 独自のネットワークを活かしたスムーズな地域連携

市長 新たに開設された「肛門外来・排便障害外来」の状況や、高度な治療が必要な際の地域連携について教えてください。

院長 開設初日から近隣の医療機関からご紹介があり、潜在的なニーズの高さを実感しています。当院での対応が難しい複雑な手術や高度治療が必要な場合でも、ガイドライン作成を通じて構築したネットワークを活かし、適切な専門施設へご紹介することが可能です。少々遠方になる場合もありますが、ご希望に合わせてしっかりと連携して対応いたします。

■ 苦痛の少ない内視鏡検査で、大腸がんを未然に防ぐ

市長 大腸がんなどの早期発見につながる「予防医療（内視鏡検査）」の推進についてはいかがでしょうか。

院長 大腸がんは日本人で最も罹患数が多いがんの一つですが、ポリープの段階で内視鏡を使い早期切除すれば、未然に防ぐ可能性が高まります。現在は鎮静剤を使い、半分眠ったような状態で苦痛なく検査を受けることも可能です。血便などの症状があれば保険適用での検査となります。患者様の増加に合わせて、将来的には検査体制の拡充も視野に入れています。

■ 地域の皆様が何でも安心して相談できる病院へ

市長 最後に、市民の皆様へ向けたメッセージをお願いします。

院長 当院は、さまざまな疾患に幅広く対応できる「包括ケア」の体制を整えるとともに、病気を早期に見つける「予防医療」に力を入れてまいります。さらに、がんに対する専門的な診断・治療や、リハビリテーションによる退院サポートなども積極的に行います。広い分野において、地域で安心して何でも相談できる病院として機能してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



市内で活動する学生団体を紹介！

農業サークル 東大あぐりえこん。

「東大あぐりえこん。」は、東京大学の学生が中心となって活動する農業サークル。大網白里市内の農場が活動場所のひとつとなっており、地域との交流、食や環境についての学びを深める活動をしています。

主な活動内容

01 農業体験・支援



本市を拠点に、野菜の収穫や農作業の支援を行っています。生産者と交流しながら、地域農業の魅力や課題を学んでいます。

02 イベント・交流



文化祭では特産品販売・農業体験を実施。人とのつながりを大切にしながら、「美味しく・楽しく」学べるイベントづくりに取り組んでいます。

03 学び・発信



現地まで足を運び、フィールドワークで地域課題を発掘。SNSなどで活動を発信し、地域の魅力を広める活動をしています。

令和7年には、地域共創プランコンテストを開催！



「大網白里市の新たな地域観光コンテンツをデザインせよ！」がテーマ。課題解決や魅力発信につながる学生目線のアイデアがたくさん生まれました。

「お互いにとって面白いことを、学生にしかできないことを。」



メンバーの声



村尾泰治さん

一緒に地域を盛り上げたい！

大網白里市には多くの魅力がありますが、それをより多くの人に知ってもらい、一緒に地域を盛り上げるお手伝いができればと思っています！

大網白里を“誇れるまち”に！

私自身、一度大網白里市を離れたことで、このまちの魅力を改めて実感しました。若い世代にとっても誇れるまちであり続けるよう、活動していきます！



石橋ひよりさん

大網白里市の魅力を再発見するイベント「MEET OAMISHIRASATO」開催！

大網白里市で“挑戦する人”に出会う体験ツアー。大網白里を知る旅に出よう！

日時	8月22日(土)9時～18時	内容	作業体験やインタビューを行い、魅力を深堀りします
会場	大網こども村プレイパーク& 昆陽ファーム	対象	市内在住・在学の中高校生

申込方法 ウェブ 申込締切 8月21日(金) 参加費 500円

詳細は… [東大あぐりえこん。で検索](#)



Instagram
@agri.econ

申し込みはこちら！

